

―特集 追悼・三上一夫―

三上一夫先生略歴・業績目録

本会事務局

長野 栄 俊 編

一 略歴

一九二二年七月二九日、朝鮮京城府で銀行員の家庭の長男に生まれる。両親ともに福井県の出身で本籍は福井県。
二〇一四年七月二八日、逝去。享年九十二歳。

【学歴】

一九三九年三月、朝鮮全羅北道立群山中学校卒業。
一九三九年四月、京城帝国大学予科入学。
一九四二年三月、京城帝国大学予科卒業。
一九四二年四月、京城帝国大学法文学部入学。高橋幸八郎助教授（西
洋史。福井県出身）に師事。
一九四四年九月、京城帝国大学法文学部史学科卒業。

【職歴】

一九四五～一九五三年、福井県庁や福井軍政部での通訳・翻訳を経て、
福井新聞社の記者（のち新福井新聞社に転出）
一九五三年四月～一九六一年三月、福井県立藤島高等学校教諭（社会科）
一九六一年四月～一九六九年三月、福井県立福井商業高等学校教諭
一九六九年四月～一九七二年三月、福井県教育委員会指導課指導主事
一九七二年四月～一九七二年三月、福井県教育研究所研究主事
一九七二年四月～一九七五年三月、丹生郡清水町立清水中学校第五
代校長
一九七五年四月～一九七九年三月、福井県立大野高等学校第一〇代
校長
一九七九年四月～一九八二年三月、福井県教育研究所所長（青少年
センター所長兼務）
一九八〇年四月～一九八三年三月、仁愛女子短期大学非常勤講師

- 一九八三年四月～一九八八年三月、福井工業大学助教
- 一九八八年四月～一九九七年三月、福井工業大学教授
- 一九九三年四月～一九九七年三月、福井工業大学図書館館長
- 二〇〇〇年二月、福井工業大学名誉教授

【その他役職】

- 福井県立高等学校定時制通信制教育問題懇話会委員、福井県郷土史教育研究会代表、福井県史編さん近現代史部会副部会長、福井市史編さん委員、近現代史部会部会長、福井県立博物館建設準備委員会委員、福井県児童福祉審議会委員、福井市立郷土歴史博物館協議会委員長、福井県立博物館展示検討委員会、福井市都市景観審議会委員

【受章・受賞】

- 一九七〇年、福井県文化協議会新人賞（郷土史部門）
- 一九七四年、福井県教育研究賞
- 一九七四年、福井県教育功績賞（歴史研究）
- 一九八一年、教育委員会表彰・教育功労者（教育行政）
- 一九八八年、福井市文化奨励賞（学術）
- 一九八九年、福井県文化賞（学術）
- 一九九二年、勲四等瑞宝章
- 二〇〇四年、福井新聞文化賞

【学会】

- 福井県郷土誌懇談会（理事）、地方史研究協議会、社会文化史学会、社会経済史学会、土地制度史学会、北陸都市史学会（副会長）、横井小楠と変革期思想学会（旧・全国横井小楠研究会）。

二 業績目録

- 凡例 福井県立図書館の蔵書を中心に調査を行い、業績を「(一) 単著」「(二) 編集・監修」「(三) 自治体史・学校史等」「(四) 論文」「(五) 短文・随想・読み物」「(六) 史料集・史料紹介」「(七) 書評・新刊紹介・文献一覧」「(八) 講演録・対談録」「(九) 事典」の九つに分類した。このうち「(四) 論文」と「(五) 短文・随想・読み物」の別は、注記の有無や原稿の分量等に基づき、便宜的に分けたものである。「(四) 論文」は年代ごとに網羅したつもりだが、「(五) 短文・随想・読み物」は新聞・雑誌等への寄稿文で遺漏も多い。また「(九) 事典」も網羅性を欠くことをお断りしておく。

(一) 単著

- ① 『幕末の越前藩（福井県郷土新書 一）』福井県郷土誌懇談会、一九七四年三月
- ② 『公武合体論の研究―越前藩幕末維新史分析―』御茶の水書房、一九七九年六月

- ③『公武合体論の研究 改訂版―越前藩幕末維新史分析―』御茶の水書房、一九九〇年一月
- ④『福井藩の歴史』東洋書院、一九八二年三月
- ⑤『福井県の教育史(都道府県教育史)』思文閣出版、一九八五年五月
- ⑥『日本近代化の研究―福井県下の動向を中心に―(日本海地域史研究叢書)』文献出版、一九八六年四月
- ⑦『明治初年真宗門徒大決起の研究―越前護法大―揆分析―』思文閣出版、一九八七年六月
- ⑧『日本近代化と真宗地帯の研究―福井県下の動向を中心に―』思文閣出版、一九八九年六月
- ⑨『日本農村社会近代化の軌跡―福井県下の動向を中心に―』御茶の水書房、一九九一年一月
- ⑩『横井小楠の新政治社会像―幕末維新変革の軌跡―』思文閣出版、一九九六年四月
- ⑪『横井小楠―その思想と行動―(歴史文化ライブラリー六二)』吉川弘文館、一九九九年三月
- ⑫『幕末維新と松平春嶽』吉川弘文館、二〇〇四年五月
- (二) 編集・監修
- ①『福井県藤島高等学校百年史』福井県立藤島高等学校、一九五六年一月「学校側編集委員」
- ②『目で見る福井・坂井の一〇〇年』郷土出版社、一九九三年一月「舟澤茂樹との共同監修」
- ③『横井小楠のすべて』新人物往来社、一九九八年三月「源了圓・花立三郎・水野公寿との共編」
- ④『松平春嶽のすべて』新人物往来社、一九九九年二月「舟澤茂樹との共編」
- ⑤『由利公正のすべて』新人物往来社、二〇〇一年五月「舟澤茂樹との共編」
- (三) 自治体史・学校史等
- ①福井県教育史研究室編『福井県教育百年史 第一巻 通史編一』福井県教育委員会、一九七八年三月「史料調査委員」
- ②福井県教育史研究室編『福井県教育百年史 第二巻 通史編二』福井県教育委員会、一九七九年一月「編さん委員長」
- ③福井県教育史研究室編『福井県教育百年史 第三巻 史料編一』福井県教育委員会、一九七五年一月「史料調査委員」
- ④福井県教育史研究室編『福井県教育百年史 第四巻 史料編二』福井県教育委員会、一九七六年一月「史料調査委員」
- ⑤福井県編『福井県史 通史編四 近世二』福井県、一九九六年三月「第六章第三節一 水戸浪士の西上」「第六章第三節一 長州出兵と諸藩の動向」「第六章第三節三 幕府倒壊と地域の対応」執筆
- ⑥福井県編『福井県史 通史編五 近現代一』福井県、一九九四年一月「近現代史部会副部会長、「第一章第一節一 戊辰戦争と若越諸藩」「第一章第一節二 福井藩公議政体路線」「第一章第一節四 武生騒動」「第一章第一節五 越前真宗門徒の大決起」「第

第三章第一節一 勸業と勸農政策」「第三章第一節二 地主制の進展」「第三章第一節三 農事改良」「第五章第一節一 農家経済の起伏」「第五章第一節二 地主制の後退」執筆

⑦福井県編『福井県史 通史編六 近現代』二 福井県、一九九六年三月

〔近現代史部会副部会長〕

⑧福井県編『福井県史 資料編一〇 近現代一』福井県、一九八三年三月〔近現代史部会副部会長、「解説三 産業・経済」執筆〕

⑨福井県編『福井県史 資料編一一 近現代二』福井県、一九八五年三月〔近現代史部会副部会長、「解説三 産業・経済の一 概況」斎藤健次郎と分担執筆、「解説三 産業・経済の二 農業」執筆〕

⑩福井県編『福井県史 資料編一二上 近現代三』福井県、一九八八年三月〔近現代史部会副部会長、「解説二 経済更生運動」「解説三 輸出入絹織物業」「解説六 農業・水産業」「解説七 戦時経済統制」調査執筆者の意見をまとめて執筆〕

⑪福井県編『福井県史 資料編一二下 近現代四』福井県、一九九一年三月〔近現代史部会副部会長〕

⑫福井県編『福井県史 資料編一七 統計』福井県、一九九三年三月〔近現代史部会副部会長〕

⑬福井市編『福井市史 通史編三 近現代』福井市、二〇〇四年三月
〔市史編さん委員・近現代史部会長、「序章」「第五章第一節 占領下の市民生活」「第五章第二節 福井震災と復興」「第五章第三節 戦後の諸改革と再建」執筆〕

⑭福井市編『福井市史 資料編一〇 近現代一』福井市、一九九一年

七月〔市史編さん委員・近現代史部会長、「第二章 政治・行政」第三章 社会・生活〕第四章 産業・経済」の「概観」を富永亮一郎・出村久仁男・吉田叡・吉田健・編さん室員と分担執筆、「解説」執筆

⑮福井市編『福井市史 資料編一一 近現代二』福井市、一九九四年三月〔市史編さん委員・近現代史部会長、「第一章 政治・行政」の「概観」岩本憲雄・編さん室員と共同執筆、「解説」執筆〕

⑯福井市編『福井市史 資料編一二 近現代三』福井市、一九九八年三月〔市史編さん委員・近現代史部会長、「第一章 政治・行政」の「概観」野路弘と共同執筆、「解説」執筆〕

⑰小浜市史編纂委員会編『小浜市史 通史編 下巻』小浜市役所、一九九八年三月〔第一章 第三節一 勸農政策の推進〕第二章 第二節一 農業生産の発展と農業団体〕第三章 第一節四 昭和恐慌と農村〕執筆、「第三章 第二節二 戦時経済統制と企業誘致」数本金一と分担執筆

(四) 論文

- ―一九五〇年代―
- ①「モンゴリアに於ける遊牧民の生活態―匈奴史を中心とした一考察―」〔福井県立藤島高等学校研究集録〕一号、一九五九年五月
- ―一九六〇年代―
- ②「橋本左内の洋学観」〔若越郷土研究〕二 卷一号、一九六六年一月
- ③「左内の洋学的開明性について」〔福商〕八号、一九六六年三月

- ④「橋本左内の外交観についての一考察」〔『若越郷土研究』一一巻五号、一九六六年九月〕
- ⑤「明和の越前大い揆について―反封建斗争を中心に―」〔『若越郷土研究』一二巻二号、一九六七年一月〕
- ⑥「明和・天保の二大い揆について―若越での反封建闘争の一考察―」〔『福商』九号、一九六七年三月〕
- ⑦「由利公正の富国策について―藩政改革の財政面を中心に―」〔『若越郷土研究』一二巻二号、一九六七年三月〕
- ⑧「由利公正の富国強兵策について―藩政改革の財政的視角より―」〔『福井県高等学校社会科研究会歴史部会紀要』一九六六年度、一九六七年三月〕
- ⑨「越前藩の強兵策について―海防対策と洋式兵器工業を中心に―」〔『若越郷土研究』一二巻三号、一九六七年六月〕
- ⑩「橋本左内の外交観について―日露同盟論を中心に―」〔『社会文化史学』三号、一九六七年八月〕
- ⑪「横井小楠の富国策について―藩政改革の路線設定への一展望―」〔『若越郷土研究』一二巻四号、一九六七年九月〕
- ⑫「百姓一揆の質的転換について（上）―明和の越前大い揆の解明を中心に―」〔『歴史教育』一五巻二二号、一九六七年一月〕
- ⑬「百姓一揆の質的転換について（下）―明和の越前大い揆の解明を中心に―」〔『歴史教育』一五巻二二号、一九六七年二月〕
- ⑭「藩政動揺期の諸問題―越前藩の財政難を中心に―」〔『若越郷土研究』一二巻六号、一九六七年二月〕
- ⑮「橋本左内の農民観について―農民層分解の視角より―」〔『若越郷土研究』一三巻二号、一九六八年三月〕
- ⑯「幕末における越前藩の富国策について―由利公正の施策を中心に―」〔『日本歴史』二四二号、一九六八年六月〕
- ⑰「幕末における重商主義的論策について―福井藩を中心に―」〔『若越郷土研究』一三巻五号、一九六八年一月〕
- ⑱「幕末の福井藩における民富論の形成について」〔『産業教育』昭和四二年度、一九六八年〕
- ⑲「明治初年越前大い揆についての一考察」〔『歴史評論』一二二二号、一九六九年一月〕
- ⑳「幕末における福井藩の藩政改革と幕政改革運動について―両改革の関連的把握を中心に―」〔『福井県立福井商業高等学校研究集録』一集、一九六九年三月〕
- ㉑「明治初年越前大い揆の特質について」〔『福井高社研紀要』二二号、一九六九年三月〕
- ㉒「明治初年越前大い揆について（上）―その経過と特質の解明を中心に―」〔『若越郷土研究』一四巻四号、一九六九年九月〕
- ―一九七〇年代―
- ㉓「明治初年越前大い揆について（下）―その経過と特質の解明を中心に―」〔『若越郷土研究』一五巻二二号、一九七〇年三月〕
- ㉔「第二次征長に対する越前藩の動向について―春嶽の論策を中心に―」〔『若越郷土研究』一五巻六号、一九七一年一月〕
- ㉕「越前藩の軍制改革」〔『軍事史学』七巻三号、一九七一年二月〕

- ②6 「越前藩の挙藩上洛計画について―横井小楠の論策を中心に―」
〔若越郷土研究〕一七卷一号、一九七二年一月
- ②7 「文久期における越前藩の幕政改革運動について―参勤交代制の改革策を中心に―」〔研究余録〕〔日本歴史〕二八八号、一九七二年五月
- ②8 「越前藩における統一国家論の展開―左内・小楠の論策を中心に―」〔若越郷土研究〕一八卷一号、一九七三年一月
- ②9 「越前藩と勝海舟―緊迫した内外情勢への対決をめぐる―」
〔若越郷土研究〕一九卷四号、一九七四年七月
- ③0 「文久三年の張紙等にもみる尊攘派の動向―『文久三々雑記』〔松平文庫〕より―」〔若越郷土研究〕二〇卷一号、一九七五年二月
- ③1 「幕末の越前藩における藩政改革の民富論的視点について」〔若越郷土研究〕二〇第五号、一九七五年九月
- ③2 「幕末の大野・越前両藩の蝦夷地観―関連的把握を中心に―」〔若越郷土研究〕二二第五号、一九七六年九月
- ③3 「幕末維新期の公武合体路線の再評価―越前藩の動向の研究視角から」〔銀杏〕二三号、一九七八年三月
- ③4 「明治六年越前大―揆の護法的側面について」〔若越郷土研究〕二四卷四号、一九七九年七月
- ―一九八〇年代―
- ③5 「明治初年敦賀県今立郡下の護法大―揆解体過程の一考察」〔若越郷土研究〕二五卷三号、一九八〇年六月
- ③6 「明治六年越前大野郡下の護法―揆」〔日本海地域史研究会・田中喜男編〕〔日本海地域史研究第二輯〕文献出版、一九八一年二月
- ③7 「明治初年護法―揆の特質―明治六年越前大―揆分析―」〔土地制度史学〕二三卷三号、一九八一年四月
- ③8 「福井藩の統一国家論生成、展開過程の一考察（創立三〇周年記念特別論文）」〔福井県教育研究所研究紀要〕八一号、一九八二年三月
- ③9 「越前地租改正反対運動の歴史的系譜」〔金沢経済大学経済開発研究所研究年報〕二号、一九八二年三月
- ④0 「大野・福井両藩の蝦夷地対策の一考察」〔仁愛女子短期大学紀要〕一三号、一九八二年三月
- ④1 「明治初年農村の諸職業についての一考察―越前・川西地区の動向を中心に―」〔荒牧哲郎教授還暦記念論文集刊行会編〕〔経済学における理論と歴史―荒牧哲郎教授還暦記念論文集―〕文献出版、一九八三年三月
- ④2 「福井藩論と海舟・龍馬路線―相互関連的把握を中心に―」〔仁愛女子短期大学紀要〕一四号、一九八三年三月
- ④3 「『昭和恐慌』下の福井県の農民層分解について」〔若越郷土研究〕二八卷四号、一九八三年七月
- ④4 「『昭和恐慌』前後の農家経済の一考察―福井県下の動向を中心に―」〔福井工業大学研究紀要〕一四号、一九八四年一〇月
- ④5 「『昭和恐慌』後の農村経済更生運動の一考察―福井県旧坂井郡大石村の動向を中心に―」〔日本海地域史研究会・田中喜男編〕〔日本海地域史研究第六輯〕文献出版、一九八四年二月
- ④6 「福井県下の地主制展開過程の一考察―明治大正期を中心に―」〔若越郷土研究〕三〇卷一号、一九八五年二月

- ④7 「北陸近代化」路線の地域類型的把握―福井県下の動向を中心に―（『福井工業大学研究紀要』一五号、一九八五年七月）
- ④8 「北陸広域自由民権の史的 성격―北陸近代化路線の一断面―」（『若越郷土研究』三〇巻五号、一九八五年九月）
- ④9 「戦時下農家経済の一考察―福井県下の動向を中心に―」（『福井工業大学研究紀要』一六号、一九八六年六月）
- ⑤0 「戦時下農村構造の再編について―「中間型」福井県の動向を中心に―」（『若越郷土研究』三一巻六号、一九八六年十一月）
- ⑤1 「戦時下の産業組合活動の質的転換について―福井県丹生郡旧越廼・下岬両村の事例を中心に―」（『福井工業大学研究紀要』一七号、一九八七年六月）
- ⑤2 「日本近代の真宗地帯の歴史的性格―越前・旧今立郡下の動向を中心に―」（『福井工業大学研究紀要』一八号、一九八八年六月）
- ⑤3 「北陸広域民権運動と真宗地帯」（『北陸都市史学会報』一〇号、一九八八年八月）
- ⑤4 「日本近代化と真宗地帯の性格―明治期越前地方の事例より―」（『福井県史研究』六号、一九八九年三月）
- ⑤5 「日本近代の「信教自由」の歴史的性格―越前真宗地帯の事例から―」（『若越郷土研究』三四巻三号、一九八九年五月）
- ⑤6 「近代機業発展と真宗地帯―越前の動向を中心に―」（『福井工業大学研究紀要』一九号、一九八九年九月）
- ―一九九〇年代―
- ⑤7 「維新期の「公議論」路線の歴史的性格―福井藩の動向を中心に―」（『福井県史研究』七号、一九九〇年三月）
- ⑤8 「明治前期の勸農策と真宗地帯―福井市近郊農村、一篤農の巡回指導―」（『福井工業大学研究紀要』二〇号（第二部）、一九九〇年七月）
- ⑤9 「一九二〇年恐慌」後の農家経済の実像―越前真宗地帯での事例―」（『福井工業大学研究紀要』二二号（第二部）、一九九一年三月）
- ⑥0 「橋本左内と横井小楠の露・英観―両者の外交観の異同性を中心に―」（『熊本近代史研究会編』『近代における熊本・日本・アジア』熊本近代史研究会、一九九一年三月）
- ⑥1 「福井藩「挙藩上洛計画」にみる横井小楠の「公議論」基調（特集横井小楠の思想）」（『日本思想史』三七号、一九九一年五月）
- ⑥2 「近代機業発展と北陸真宗地帯」（『福井工業大学研究紀要』二三号（第二部）、一九九二年三月）
- ⑥3 「横井小楠・佐久間象山の海防論―両論の異同性を中心に―」（『福井工業大学研究紀要』二三号（第二部）、一九九三年三月）
- ⑥4 「幕末の日本海域における海防策―若越諸藩の動向を中心に―」（『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』創刊号、一九九三年三月）
- ⑥5 「文久期幕政改革にみる横井小楠の論策」（『近代熊本』二四号、一九九三年九月）
- ⑥6 「幕末の福井・熊本両藩の藩政改革への横井小楠の対応についての一考察」（『福井工業大学研究紀要』二四号（第二部）、一九九四年三月）
- ⑥7 「横井小楠門弟による明治初年の福井・熊本両藩の藩政改革、その後の殖産策」（『福井工業大学研究紀要』二五号（第二部）、一九九五年三月）

- ⑥8 「横井小楠・李退溪路線の再評価―小楠没後一二五年に想う―」
 (『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』三三号、一九九五年三月)
- ⑥9 「明治前期、越前・熊本の自由民権運動にみる横井小楠路線」(『福井工業大学紀要』二六号(第二部)、一九九六年三月)
- ⑦0 「横井小楠経世論の啓発力の一考察」(『福井工業大学研究紀要』二七号(第二部)、一九九七年三月)
- ―二〇〇〇年代―
- ⑦1 「横井小楠実学の特質、その啓発力」(『靈山歴史館紀要』一三三号、二〇〇〇年四月)
- ⑦2 「幕末福井・柳川両藩の殖産興業の類似性―横井小楠とのかかわりを中心に―」(『若越郷土研究』四八巻一号、二〇〇三年七月)
- ⑦3 「日本ファシズム形成過程下の真宗地帯―越前の動向を中心に―」(『福井県文書館研究紀要』二二号、二〇〇五年三月)
- ⑦4 「『五ヶ条の御誓文』の歴史的 성격―「画餅の弊」からの脱却難―」
 (『若越郷土研究』五一巻一号、二〇〇六年八月)
- ―二〇一〇年代―
- ⑦5 「『五ヶ条の御誓文』の特質―ゆがめられた近代化の軌跡―」(『若越郷土研究』五五巻一号、二〇一〇年八月)
- ⑦6 「幕末の対馬の危機的情勢―日本海保全との関連―」(『若越郷土研究』五五巻二号、二〇一一年二月)
- ⑦7 「『陣中日誌』の特異な歴史的 성격」(『若越郷土研究』五六巻一号、二〇一一年八月)

(五) 短文・随想・読み物

- ① 「由利公正―激動期に生きた政治家―」(『青少年育成福井県民会議編』若越山脈第一集―郷土に光を掲げた人びと―) 福井県、一九七〇年三月)
- ② 「山本条太郎―満鉄中興の偉材―」(『青少年育成福井県民会議編』若越山脈第三集―郷土に光を掲げた人びと―) 福井県、一九七二年三月)
- ③ 「危機感に徹した越前藩と勝海舟」(『歴史読本』一九九二号、一九七四年二月)
- ④ 「研修活動の推進を目指す学校経営―福井県清水町立清水中学校―」(『特集 学校経営を省みる 実践研究』(『中等教育資料』二四巻二号、一九七五年二月)
- ⑤ 「刊行によせて」(大野高等学校創立七〇周年記念誌編集委員会編『大野の七〇年』福井県立大野高等学校創立七〇周年記念行事実行委員会、一九七五年一〇月)
- ⑥ 「歴代校長・バトンタッチ」(大野高等学校創立七〇周年記念誌編集委員会編『大野の七〇年』福井県立大野高等学校創立七〇周年記念行事実行委員会、一九七五年一〇月)
- ⑦ 「由利公正」(『季刊歴史と文学』二三号、一九七五年)
- ⑧ 「紀要第一六号の発刊に寄せて」(『福井県立大野高等学校研究紀要』一六号、一九七六年三月)
- ⑨ 「由利公正―幕末・維新期の政治家―」(『日本史発掘 三二』(『日本及日本人』昭和五二年盛夏号、一九七六年七月)
- ⑩ 「大野藩」(『新編物語藩史 第六巻』新人物往来社、一九七六年一月)

- ⑪ 「研究紀要」第一七号刊行によせて」（福井県立大野高等学校研究紀要）一七号、一九七七年三月）
- ⑫ 「松平春嶽―新生日本を見通した名君―」（青少年育成福井県民会議編『若越山脈 第四集―郷土に光を掲げた人びと―』福井県、一九七七年三月）
- ⑬ 「主題学習を实践して」（熊谷幸次郎編『日本史主題学習の研究』法律文化社、一九七七年四月）
- ⑭ 「千利休」（熊谷幸次郎編『日本史主題学習の研究』法律文化社、一九七七年四月）
- ⑮ 「藩政」（熊谷幸次郎編『日本史主題学習の研究』法律文化社、一九七七年四月）
- ⑯ 「琵琶湖・日本海の舟運」（熊谷幸次郎編『日本史主題学習の研究』法律文化社、一九七七年四月）
- ⑰ 「紀要第一八号の発刊に寄せて」（『福井県立大野高等学校研究紀要』一八号、一九七八年三月）
- ⑱ 「福井県の年中行事」（福井県郷土史教育研究会編著『ぼくらの福井県―郷土の地理と歴史―（ポプラ社の県別シリーズ一七）』ポプラ社、一九七八年七月）
- ⑲ 「これからの福井県」（福井県郷土史教育研究会編著『ぼくらの福井県―郷土の地理と歴史―（ポプラ社の県別シリーズ一七）』ポプラ社、一九七八年七月）
- ⑳ 「地域の特性を生かした社会科学学習（特集 地域に根ざした学習）」（『中等教育資料』二七巻一二号、一九七八年八月）
- ㉑ 「研究紀要一九号の発刊に寄せて」（『福井県立大野高等学校研究紀要』一九号、一九七九年三月）
- ㉒ 「はじめに」（『福井県教育研究所研究紀要』七六号、一九七九年六月）
- ㉓ 「序」（『福井県教育研究所研究紀要』七七号、一九八〇年三月）
- ㉔ 「地域社会の教育力を見直す（特集 地域社会との協働）」（『教育展望』二六巻三号、一九八〇年四月）
- ㉕ 「はじめに」（『福井県教育研究所研究紀要』七八号、一九八〇年六月）
- ㉖ 「幕末の越前藩の海防意識の今日的課題―外人の提言より―」（『南越』五〇号、一九八〇年九月）
- ㉗ 「研究所だより―福井県教育研究所―」（『教育心理』二八巻二二号、一九八〇年二月）
- ㉘ 「序」（『福井県教育研究所研究紀要』七九号、一九八一年三月）
- ㉙ 「会員だより」（『南越』五一号、一九八一年四月）
- ㉚ 「はじめに」（『福井県教育研究所研究紀要』八〇号、一九八一年六月）
- ㉛ 「刊行のことば」（『福井県教育研究所研究紀要』八二号、一九八二年三月）
- ㉜ 「越前と幕末の志士（由利公正・内山隆佐）」（『地域文化研究』二巻三号、一九八二年六月）
- ㉝ 「越前大野藩の、経略魂」（歴史に学ぶ―「指導」・「改革」・「実践」―の記録）（『日本及日本人』昭和五十七年盛夏号、一九八二年七月）
- ㉞ 「松平春嶽―天下の公論を諭す―（龍馬をめぐる群像）」（『歴史と旅』九巻一〇号、一九八二年八月）
- ㉟ 「通信欄」（『南越』五四号、一九八二年九月）
- ㊱ 「教育人国記（福井県）」（『学校経営』二八巻二二号、一九八三年二月）

- 37 「若越諸藩の藩校教育の特質」〔『若越郷土研究』二八巻五号、一九八三年九月〕
- 38 「日本海地域、特に越前地区の近代化路線の歴史的性格」〔研究状況〕〔『福井工業大学研究紀要』一三号、一九八三年一〇月〕
- 39 「昭和初期の本県農村経済の歴史的性格」〔研究状況〕〔『福井工業大学研究紀要』一四号、一九八四年一〇月〕
- 40 「通信欄」〔「南越」五九号、一九八五年四月〕
- 41 「日本近代化の歴史的性格」〔研究状況〕〔『福井工業大学研究紀要』一五号、一九八五年七月〕
- 42 「激動期の財政家 由利公正」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』一九号、一九八五年九月〕
- 43 「藩店「大野屋」の創始者 内山山休」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二〇号、一九八五年一〇月〕
- 44 「幕末維新の変革期に果たした福井藩の藩校教育」〔『福井の文化』七号、一九八五年一〇月〕
- 45 「北陸の機業発展と宗教倫理」〔『若越』六〇号、一九八五年一〇月〕
- 46 「機業界の大先覚 三宅丞四郎」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二二号、一九八五年十一月〕
- 47 「武生の地域・物産振興家 松井耕雪」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二三号、一九八五年十二月〕
- 48 「敦賀港切つての大事業家 大和田莊七」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二三号、一九八六年一月〕
- 49 「機業界のリーダー役 松井文太郎」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二四号、一九八六年二月〕
- 50 「農会活動の立て役者 山田斂」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二五号、一九八六年三月〕
- 51 「通信欄」〔『若越』六一号、一九八六年四月〕
- 52 「越前和紙再興の偉業・岩野平三郎」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二六号、一九八六年四月〕
- 53 「偉大な論策家・横井小楠」〔福井県の産業・経済近代化を進めた人〕〔『福井県経済経営研究所調査月報』二七号、一九八六年五月〕
- 54 「日本近代化路線の特質―「北陸近代化」の分析視角から―」〔研究状況〕〔『福井工業大学研究紀要』一六号、一九八六年六月〕
- 55 「優れた学統のもとで」〔歴代校長回想文〕〔八〇周年記念誌編集委員会編『大野高校八十年史』創立八〇周年記念行事実行委員会、一九八六年九月〕
- 56 「昭和戦中期の出征将兵の犠牲―旧丹生郡越廼・下岬両村の場合―」〔『若越』六二号、一九八六年九月〕
- 57 「通信欄」〔『若越』六三号、一九八七年四月〕
- 58 「近代における真宗地帯の歴史的性格」〔研究状況〕〔『福井工業大学研究紀要』一七号、一九八七年六月〕
- 59 「越前と幕末の志士」〔由利公正・内山隆佐〕〔『若越』六四号、一九八七年九月〕
- 60 「通信欄」〔『若越』六四号、一九八七年九月〕
- 61 「松平春嶽―天下の口論を論ず―」〔『若越』六五号、一九八八年四月〕
- 62 「通信欄」〔『若越』六五号、一九八八年四月〕

- ⑥3 「通信欄」〔若越〕六六号、一九八八年九月)
- ⑥4 「歴代所長と沿革(三上一夫)」(福井県教育研究所四十年史編集委員会編『福井県教育研究所四十年史』福井県教育研究所、一九八九年二月)
- ⑥5 「通信欄」〔若越〕六九号、一九九〇年四月)
- ⑥6 「道元の絶筆をどうみるか」〔若越〕第七一号、一九九一年四月)
- ⑥7 「通信欄」〔若越〕七五号、一九九三年四月)
- ⑥8 「現代につながる横井小楠の政治社会像」(『福井の文化』二四号、一九九五年三月)
- ⑥9 「議会制への松平春嶽の先見性―春嶽朱筆入りの『大英国志』より―」(『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』五号、一九九七年三月)
- ⑦0 「福井時代の坂本龍馬(シリーズ人物検証 一五 検証 坂本龍馬の全仕事)」(『歴史読本』四二巻八号、一九九七年八月)
- ⑦1 「坂本龍馬と福井藩」(『新人物往来社編』『共同研究・坂本龍馬』新人物往来社、一九九七年八月)
- ⑦2 「文久期幕政改革と小楠」(源了圓・花立三郎・三上一夫・水野公寿編『横井小楠のすべて』新人物往来社、一九九八年三月)
- ⑦3 「福井藩「拳藩上洛」を画策」(源了圓・花立三郎・三上一夫・水野公寿編『横井小楠のすべて』新人物往来社、一九九八年三月)
- ⑦4 「松平春嶽―人物論―」(三上一夫・舟澤茂樹編『松平春嶽のすべて』新人物往来社、一九九九年二月)
- ⑦5 「松平春嶽と公武合体運動」(三上一夫・舟澤茂樹編『松平春嶽のすべて』新人物往来社、一九九九年二月)
- ⑦6 「松平春嶽と横井小楠」(三上一夫・舟澤茂樹編『松平春嶽のすべて』新人物往来社、一九九九年二月)
- ⑦7 「『由利哲学』の今日的課題(教職員の思い出の記)」(清水中学校創立五〇周年記念事業記念誌部会編『清水中学校五十年史』清水中学校創立五〇周年記念事業実行委員会、二〇〇〇年二月)
- ⑦8 「由利公正―その人物論―」(三上一夫・舟澤茂樹編『由利公正のすべて』新人物往来社、二〇〇一年五月)
- ⑦9 「由利公正と民撰議院設立建白」(三上一夫・舟澤茂樹編『由利公正のすべて』新人物往来社、二〇〇一年五月)
- ⑧0 「由利公正と明治前期殖産策」(三上一夫・舟澤茂樹編『由利公正のすべて』新人物往来社、二〇〇一年五月)
- ⑧1 「横井小楠(小特集 幕末・維新期のキーパーソン)」(『環―歴史・環境・文明―』一三号、二〇〇三年五月)
- ⑧2 「横井小楠思想に魅せられて(特集/私と横井小楠―研究の回顧と展望―)」(『横井小楠研究会年報』一号、二〇〇三年七月)
- ⑧3 「松平春嶽の旺盛な情報収集力」(『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』一二号、二〇〇四年三月)
- ⑧4 「故松平永芳氏をしのぶ―春嶽公文庫寄贈、篤実な人柄魅力―」(『福井新聞』二〇〇五年七月二六日)
- ⑧5 「松平春嶽の先見性―幕末維新期情勢の分析視角より―」(『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』一八号、二〇一一年三月)
- ⑧6 「橋本左内の先見性について」(『若越郷土研究』五七巻一号、二〇一二年八月)
- ⑧7 「橋本左内の先見性についての一考察」(『福井市立郷土歴史博物館

研究紀要』一九号、二〇一三年三月)

⑧⑧ 「新撰組副長土方歳三の歴史認識」(『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』一九号、二〇一三年三月)

⑧⑨ 「北陸自由民権運動の起伏」(『若越郷土研究』五八卷一号、二〇一三年八月)

⑧⑩ 「榎本武揚の「蝦夷地共和国」論(遺稿)」(『若越郷土研究』六〇巻一号、二〇一五年八月)

⑧⑪ 「二・二六事件にかかわる危機的情勢についての一考察(遺稿)」(『若越郷土研究』六〇巻一号、二〇一五年八月)

⑧⑫ 「満州事変の歴史的品格についての一考察(遺稿)」(『若越郷土研究』六〇巻一号、二〇一五年八月)

(六) 史料集・史料紹介

① 「明治六年越前大一揆」(『日本庶民生活史料集成第一三巻 騒擾』三一書房、一九七〇年二月) [校訂・解題・補註]

② 「越藩史略」歴史図書社、一九七五年二月 [校訂]

③ 「明和騒動記」(原田伴彦ほか編『日本都市生活史料集成 四城下町篇 II』学習研究社、一九七六年一月) [校註]

④ 「越前藩の幕末情報収集録『文久三亥雜記』(抄録)——挙藩上洛計画の政治社会的背景の視角から——」(『福井県立大野高等学校研究紀要』一六号、一九七六年三月)

⑤ 「〔史料紹介〕幕末越前藩の諸情報収集録『文久三亥雜記』」(日本海地域史研究会・田中喜男編『日本海地域史研究 第三輯』文献出版、

一九八一年一〇月)

⑥ 「〔史料紹介〕初代鈴木市政の特質——鈴木進道『市務日誌』より——」(『福井市立郷土歴史博物館研究紀要』二号、一九九四年三月)

(七) 書評・新刊紹介・文献一覽

① 「〔書評〕『福井県地域史研究(二号)』」(『若越郷土研究』一六巻四号、一九七一年七月)

② 「〔書評〕白崎昭一郎著『継体天皇の研究』」(『若越郷土研究』一七巻六号、一九七二年二月)

③ 「〔書評〕『徳光用水』」(『若越郷土研究』一八巻五号、一九七三年九月)

④ 「〔書評〕『荻原町史』」(『若越郷土研究』一九巻三号、一九七四年七月)

⑤ 「〔書評〕『越前藩幕末維新公用日記』」(『若越郷土研究』一九巻六号、一九七四年一月)

⑥ 「〔書評〕『福井県地域史研究』第五号」(『若越郷土研究』二〇巻五号、一九七五年九月)

⑦ 「〔書評〕重松明久著『蓮如と越前一向一揆』」(『若越郷土研究』二〇巻五号、一九七五年九月)

⑧ 「〔書評〕『えちぜん・わかさ』創刊号——『福井民俗の会』新発足——」(『若越郷土研究』二〇巻六号、一九七五年九月)

⑨ 「〔書評〕佐久高土著『近世農村の数的研究——越前国宗門人別御改帳の分析総合——』」(『若越郷土研究』二二巻一号、一九七六年一月)

⑩ 「〔書評〕竹内信夫編『政午紀行——間部詮勝領内巡見の記——』」(『若越郷土研究』二二巻三号、一九七六年一月)

- ⑪ 「書評」 舟沢茂樹著『福井城下ものがたり』(『若越郷土研究』二一巻五号、一九七六年九月)
- ⑫ 「書評」 『松ヶ鼻用水沿革史』(『若越郷土研究』二一巻五号、一九七六年九月)
- ⑬ 「書評」 杉原丈夫著『若越民話の世界』(『若越郷土研究』二二巻一号、一九七七年一月)
- ⑭ 「新刊紹介」 『福井県下高等学校図書館郷土資料総合目録』(『若越郷土研究』二二巻一号、一九七七年一月)
- ⑮ 「書評」 松原信之著『朝倉氏と戦国村一乗谷』(『若越郷土研究』二三巻五号、一九七八年一〇月)
- ⑯ 「書評」 白崎昭一郎著『郷土史夜話―えちぜん・わかさ―』(『若越郷土研究』二三巻六号、一九七八年一月)
- ⑰ 「書評」 田中光子著『ふくい女性史―近代福井の光と陰に生きる―』(『若越郷土研究』二四巻一号、一九七九年一月)
- ⑱ 「書評」 田中光子著『ふくい女性史―近代福井の光と陰に生きる―』(『若越郷土研究』二四巻二号、一九七九年三月) ※⑰と同一
- ⑲ 「新刊紹介」 杉本伊佐美編著『回想・河和田の里』(『若越郷土研究』二四巻三号、一九七九年六月)
- ⑳ 「新刊紹介」 今庄町誌編さん委員会編『福井県今庄町誌』(『若越郷土研究』二四巻三号、一九七九年六月)
- ㉑ 「新刊案内」 三上一夫著『公武合体論の研究―越前藩幕末維新史分析―』(『若越郷土研究』二四巻四号、一九七九年七月)
- ㉒ 「新刊案内」 坂井景南著『英傑加藤寛治』(『若越郷土研究』二四巻四号、一九八一年八月)
- ㉓ 「新刊紹介」 杉本伊佐美著『福井県の新聞史』(『若越郷土研究』二四巻五号、一九七九年九月)
- ㉔ 「書評」 岸俊男・斎藤優・平井健一著『越前の古代荘園―糞置庄遺跡の危機―』(『若越郷土研究』二四巻五号、一九七九年九月)
- ㉕ 「書評」 山下英一著『グリフィスと福井(福井県郷土新書5)』(『若越郷土研究』二四巻五号、一九七九年九月)
- ㉖ 「書評」 小林巖著『評論・福井の文化』(『若越郷土研究』二五巻二号、一九八〇年三月)
- ㉗ 「書評」 敦賀市史編さん委員会編『敦賀市史研究』第一号』(『若越郷土研究』二五巻三号、一九八〇年六月)
- ㉘ 「書評」 藤本良致・小林一男著『生きている民俗探訪福井』(『若越郷土研究』二五巻三号、一九八〇年六月)
- ㉙ 「書評」 青園謙三郎著『天龍寺と芭蕉』(『若越郷土研究』二五巻三号、一九八〇年六月)
- ㉚ 「書評」 杉本壽著『日本の陶磁(一〇) 越前』(『若越郷土研究』二五巻三号、一九八〇年六月)
- ㉛ 「書評」 『南越』第五〇号』(『若越郷土研究』二五巻六号、一九八一年一月)
- ㉜ 「書評」 青山晴男著『若越をひらいた人たち』(『若越郷土研究』二六巻三号、一九八一年六月)
- ㉝ 「新刊紹介」 池内啓著『福井置県その前後』(『若越郷土研究』二六巻四号、一九八一年八月)

- 34) 「〔新刊紹介〕 印牧邦雄著『わが町の歴史・福井』」(『若越郷土研究』二六卷五号、一九八一年一月)
- 35) 「〔新刊紹介〕 坪田忠兵衛著『郷土の藤野巖九郎先生』」(『若越郷土研究』二七卷一号、一九八二年一月)
- 36) 「〔新刊紹介〕 山下末吉著『天高く』」(『若越郷土研究』二七卷一号、一九八二年一月)
- 37) 「〔新刊紹介〕 杉本壽著『農地解放の研究』」(『若越郷土研究』二七卷三号、一九八二年五月)
- 38) 「〔新刊紹介〕 間部家文書刊行会編『間部家文書第二卷』」(『若越郷土研究』二七卷六号、一九八二年二月)
- 39) 「〔新刊紹介〕 『春嶽公記念文庫名品図録』—先例のない庄巻—」(『若越郷土研究』二八卷五号、一九八三年九月)
- 40) 「〔新刊紹介〕 『福井県業誌』—二〇年に及ぶ一大労作—」(『若越郷土研究』二八卷五号、一九八三年九月)
- 41) 「〔新刊紹介〕 河原哲郎著『勝山の散歩道』」(『若越郷土研究』二八卷五号、一九八三年九月)
- 42) 「〔新刊紹介〕 三田村保正著『福井風物 明治・大正』」(『若越郷土研究』二八卷五号、一九八三年九月)
- 43) 「〔新刊紹介〕 河原哲郎著『城下町大野を歩く』」(『若越郷土研究』二九卷一号、一九八四年二月)
- 44) 「〔新刊紹介〕 武生市古文書を誦会編『武生古文書覚第二集』」(『若越郷土研究』二九卷二号、一九八四年三月)
- 45) 「〔新刊紹介〕 大野・勝山地区広域行政事務組合編『図録 奥越の文化財』」(『若越郷土研究』三〇卷一号、一九八五年二月)
- 46) 「〔新刊紹介〕 『福井県歯科医師会史』—二年がかりの労作—」(『若越郷土研究』三〇卷三号、一九八五年六月)
- 47) 「〔新刊紹介〕 岩崎達雄著『福井県名教師列伝』」(『若越郷土研究』三〇卷六号、一九八五年一月)
- 48) 「〔新刊紹介〕 杉本伊佐美著『若越今昔・百貨店』」(『若越郷土研究』三一卷一号、一九八六年一月)
- 49) 「〔新刊紹介〕 天野俊也編『昭和元年の農村生活記録』」(『若越郷土研究』三一卷一号、一九八六年一月)
- 50) 「〔新刊紹介〕 間部家文書刊行会編『間部家文書第四卷』」(『若越郷土研究』三二卷六号、一九八六年一月)
- 51) 「〔新刊紹介〕 永平寺町編『永平寺町史 史料編』」(『若越郷土研究』三三卷一号、一九八八年一月)
- 52) 「〔新刊紹介〕 杉原丈夫著『ふくいの祭り』」(『若越郷土研究』三三卷二号、一九八八年三月)
- 53) 「〔新刊紹介〕 杉本伊佐美著『今昔・福井政界夜話』」(『若越郷土研究』三三卷四号、一九八八年八月)
- 54) 「〔新刊紹介〕 久保日参著『祖師傳研究』」(『若越郷土研究』三三卷四号、一九八八年八月)
- 55) 「〔新刊紹介〕 武生市医師会一〇〇年史編纂委員会編『武生市医師会一〇〇年史』」(『若越郷土研究』三四卷一号、一九八九年三月)
- 56) 「〔新刊紹介〕 巨田元尚著『まろやかな心—青少年育成五十年—』」(『若越郷土研究』三四卷三号、一九八九年五月)

⑤7 「『新刊紹介』小浜市教育委員会編『酒井家編年史料綜覧』」（若越郷土研究）三四卷三号、一九八九年五月）

⑤8 「『新刊紹介』福井県立図書館編『松平文庫福井藩史料目録』」（若越郷土研究）三四卷三号、一九八九年五月）

⑤9 「『新刊紹介』福井県地域史研究会編『福井県地域史研究』第一〇号」（若越郷土研究）三四卷五号、一九八九年一〇月）

⑥0 「『書評と紹介』青園謙三郎著『福井史の謎に挑むひらがな郷土史』」（福井市立郷土歴史博物館研究紀要）三号、一九九五年三月）

⑥1 「『書評と紹介』和田一久増補・改訂『鈴木鼓村遺著・としのぶ集』」（福井市立郷土歴史博物館研究紀要）五号、一九九七年三月）

⑥2 「『書評と紹介』木村幸比古著『龍馬の時代―京を駆けた志士―』」（福井市立郷土歴史博物館研究紀要）六号、一九九八年三月）

⑥3 「『松平春嶽参考文献』」（三上一夫・舟澤茂樹編『松平春嶽のすべて』新人物往来社、一九九九年二月）

⑥4 「『由利公正参考文献』」（三上一夫・舟澤茂樹編『由利公正のすべて』新人物往来社、二〇〇一年五月）

⑥5 「『書評』山崎益吉著『製糸工女のエートス―日本近代化を担った女性たち』」（『産業研究』三九卷一号、二〇〇三年九月）

（八）講演録・対談録

① 「『幕末の福井藩論が教えるもの―三上一夫先生講演記録誌―』ふくい藤田美術館、一九八三年三月

② 「『てい談・近代化への歩みを解明―草創期の羽二重機業史料を新

発掘―』」（福井県史しおり）一九八三年三月）「『有明夏夫・池内啓との鼎談』

③ 「『幕末維新期での果敢な対応―「公議論」路線をめざして―』」（松平春嶽―松平春嶽公百年祭記念講演録―）福井市立郷土歴史博物館、一九九一年三月）

④ 「『福井藩と横井小楠―魅せられた福井の政治風土性―』三上一夫先生講演記録誌―』ふくい藤田美術館、一九九五年一月）

⑤ 「『大義を世界に―横井小楠の維新変革論―』」（若越郷土研究）四五卷五号、二〇〇〇年九月）

（九）事典

① 「伊藤慎蔵」「大火」「大日本国防婦人会福井県支部」「高橋幸八郎」「武生騒動」「地租増徴反対運動」「地方改良運動」「徴兵検査（富永良一郎と共著）」「土井利忠」「日ソ定期航路（戦前）」「二・二六事件」「農山漁村経済更生運動」「濃尾大地震」「野尻銅山事件」「早川弥五左衛門」「藩校」「風水害」「福井藩の藩政改革」「松井文太郎」「民力涵養運動」「山本条太郎」「横井小楠」「由利公正」「吉田拙蔵」（福井新聞社百科事典刊行委員会編『福井県大百科事典』福井新聞社、一九九一年六月）「『政治・社会』」「歴史」の専門委員」

② 「越前国勝山藩領元禄十年一揆」「越前国勝山藩領明和八年一揆」「越前国福井藩領寛延元年一揆」「越前国福井藩領明和五年一揆」「福井県大野・今立・坂井郡一揆」「福井県武生騒動」「松木庄左衛門」「若狭国小浜藩領承応元年一揆」「若狭国小浜藩領天保

四年一揆」〔若狭国小浜藩領天明三年一揆〕（国史大辞典編集委員
会編『国史大辞典』吉川弘文館、一九七九年三月～一九九七年四月）

③「横井小楠関係史跡事典（部分）」（源了圓・花立三郎・三上一夫・水
野公寿編『横井小楠のすべて』新人物往来社、一九九八年三月）

④「護法一揆」（『日本歴史大事典』小学館、二〇〇〇年七月～二〇〇一
年七月）